

業務状況の公表

鹿屋市告示第299号

鹿屋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第8条の規定に基づき、令和6年3月31日現在の鹿屋市水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和6年6月1日

鹿屋市長 中西 茂

目次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	令和5年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和6年度鹿屋市水道事業当初予算の概要	5

令和5年度 鹿屋市水道事業下半期業務状況説明書

1 事業の概要

本年度は、「鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）」の評価結果を踏まえ、ビジョンで掲げる基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づく事業を計画的に推進するため、漏水の原因となる老朽管及び耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等の更新や、輝北地区における漏水箇所を早期発見し、特定するための流量計ボックス設置及び市内各地区の漏水調査を実施するなど、施設の健全化及び市民への安定的な水の供給に努めた。

また、原油価格や物価高騰等の影響を受けた市民や事業者の負担軽減を図るため、水道料金の基本料金について令和5年12～令和6年1月通常分の合計50,754件、57,735,480円を免除した。

2 業務量

年度別 区分	令和5年度 下半期	令和5年度 上半期	増減	令和5年度末 現在
給水区域内人口 (A) (人)	95,672	96,855	△ 1,183	95,672
現在給水人口 (B) (人)	94,250	95,352	△ 1,102	94,250
現在給水戸数 (戸)	48,099	48,432	△ 333	48,099
(B) 普及率 — ×100 (%) (A)	98.51	98.45	0.07	98.51
年間総配水量 (m ³)	6,424,280	6,199,559	224,721	12,623,839
年間有収水量 (m ³)	5,015,902	5,101,660	△ 85,758	10,117,562
有収率 (%)	78.08	82.29	△ 4.21	80.15

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位:円)

収入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	予算に対し 増減額
			下半期	上半期		
収入	水道事業収益	1,735,740,000	894,575,841	853,647,943	1,748,223,784	12,483,784
	営業収益	1,614,860,000	778,296,459	848,879,323	1,627,175,782	12,315,782
	営業外収益	120,869,000	116,279,382	4,768,620	121,048,002	179,002
	特別利益	11,000	0	0	0	△ 11,000
支出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
支出	水道事業費用	1,636,648,000	986,698,443	571,379,658	1,558,078,101	78,569,899
	営業費用	1,522,736,000	905,464,700	553,934,518	1,459,399,218	63,336,782
	営業外費用	81,447,000	63,878,784	17,445,140	81,323,924	123,076
	特別損失	17,465,000	17,354,959	0	17,354,959	110,041
	予備費	15,000,000	0	0	0	15,000,000

(2) 資本的収入及び支出

(単位:円)

収入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	予算に対し 増減額
			下半期	上半期			
収入	資本的収入	33,050,000	29,140,937	0	29,140,937	0	△ 3,909,063
	負担金	22,150,000	17,850,541	0	17,850,541	0	△ 4,299,459
	補助金	260,000	660,000	0	660,000	0	400,000
	固定資産 売却代金	10,000	0	0	0	0	△ 10,000
	出資金	10,630,000	10,630,396	0	10,630,396	0	396
支出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	不用額
			下半期	上半期			
支出	資本的支出	927,810,000	281,544,807	514,759,069	796,303,876	109,040,000	22,466,124
	建設改良費	758,359,000	196,356,012	430,497,230	626,853,242	109,040,000	22,465,758
	企業債償還金	169,451,000	85,188,795	84,261,839	169,450,634	0	366

4 企業債の状況

(単位:円)

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還高	上半期償還高	本年度末残高
1,855,378,343	0	85,188,795	84,261,839	1,685,927,709

5 令和5年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況 (消費税抜)

(令和6年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1	固 定 資 産			
	(1)有形固定資産			
	イ 土 地	632,478,414		
	減損損失累計額	△ 14,543,133	617,935,281	
	ロ 建 物	1,379,798,881		
	減価償却累計額	△ 551,399,963		
	減損損失累計額	△ 5,610,265	822,788,653	
	ハ 構 築 物	23,895,723,565		
	減価償却累計額	△ 13,376,739,362		
	減損損失累計額	△ 29,315,998	10,489,668,205	
	ニ 機 械 及 び 装 置	2,416,157,579		
	減価償却累計額	△ 1,623,362,696		
	減損損失累計額	△ 8,985,864	783,809,019	
	ホ 車 両 運 搬 具	48,136,359		
	減価償却累計額	△ 35,484,555	12,651,804	
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	288,086,619		
	減価償却累計額	△ 62,361,737	225,724,882	
	ト 建 設 仮 勘 定		165,799,151	
	有形固定資産合計		13,118,376,995	
	(2)無形固定資産			
	イ 電 話 加 入 権		723,751	
	ロ 施 設 利 用 権		165,228	
	無形固定資産合計		888,979	
	(3)投資その他の資産			
	イ 投 資 有 価 証 券		100,000	
	投資その他の資産合計		100,000	
	固定資産合計		13,119,365,974	
2	流 動 資 産			
	(1)現 金 預 金		3,003,331,432	
	(2)未 収 金	330,836,521		
	未収金貸倒引当金	△ 4,862,230	325,974,291	
	(3)貯 蔵 品		8,719,960	
	(4)その他流動資産		1,100,000	
	流動資産合計		3,339,125,683	
	資 産 合 計		16,458,491,657	

負債の部

(単位：円)

3	固定負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費財源に充てる ための企業債	1,520,812,876	
	(2) 引当金		
	イ 退職給付引当金	296,367,000	
	固定負債合計		1,817,179,876
4	流動負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費財源に充てる ための企業債	165,114,833	
	(2) 未払金	56,059,322	
	(3) 引当金		
	イ 賞与引当金	16,227,365	
	ロ 法定福利費引当金	3,357,742	
	引当金合計	19,585,107	
	(4) その他流動負債	4,277,513	
	流動負債合計		245,036,775
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金	2,049,801,097	
	(2) 長期前受金収益化累計額	△ 1,417,823,333	
	繰延収益合計		631,977,764
	負債合計		2,694,194,415

資本の部

6	資本金		13,246,832,051
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 受贈財産評価額	71,601,523	
	ロ 工事負担金	99,108,231	
	ハ 補助金	6,999,834	
	資本剰余金合計		177,709,588
	(2) 利益剰余金		
	イ 当年度未処分利益剰余金	339,755,603	
	利益剰余金合計		339,755,603
	剰余金合計		517,465,191
	資本合計		13,764,297,242
	負債資本合計		16,458,491,657

6 令和6年度鹿屋市水道事業当初予算の概要

(1) 経営方針

本市の水道事業を取り巻く環境は、人口減少等により給水収益が減少傾向にある。また、施設の老朽化に伴う更新費用の増大が見込まれており、「経営基盤の強化」が課題となっている。

このような認識のもと、鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）の評価結果を踏まえ、基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づいた事業を推進するための予算を基本とする。

(2) 業務の予定量

① 給水戸数	48,100 戸
② 年間総配水量	12,110,216 m ³
③ 1日平均配水量	33,179 m ³
④ 主要な建設改良事業 イ 送配水設備ほか改良事業	867,055 千円

(3) 主な事業

① 鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）の改訂

国が令和7年までに経営戦略の見直しを要請していることや、物価高騰の影響に伴い、動力費や工事費に「投資・財政計画」や「施設規模適正化計画」との乖離が見受けられることから、社会経済状況の変化を的確に反映した収支見通しの改訂により、中長期的な経営基盤強化と財政マネジメントの向上を図る。

② 衛星漏水調査事業

ア．人工衛星画像と AI 解析を活用した漏水調査を実施し、漏水箇所の絞り込み（半径 100m の範囲）を行う。

イ．漏水対策を行うことで、有収率向上や、漏水に起因する二次災害の未然防止を図る。

③管路整備事業

ア．老朽管対策として、市更新基準の耐用年数を超過した管及び漏水が多発する管を優先的に布設替（単独工事）するとともに、県・市が実施する道路工事等に併せた老朽管の布設替を実施する。

イ．配水管整備として、水道管新設要望及び維持管理改善に伴う管の布設及び布設替（単独工事）と、県・市が実施する道路工事に併せた管の布設及び布設替を実施する。

ウ．基幹管路耐震化整備として、小学校等の避難施設や医療機関等について、地震などの災害時においても配水機能を確保する必要があることから、基幹管路等の耐震化を図る。

④水道施設更新事業

法定耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等を年次的に更新し、施設の健全化、市民への安定供給を図る。

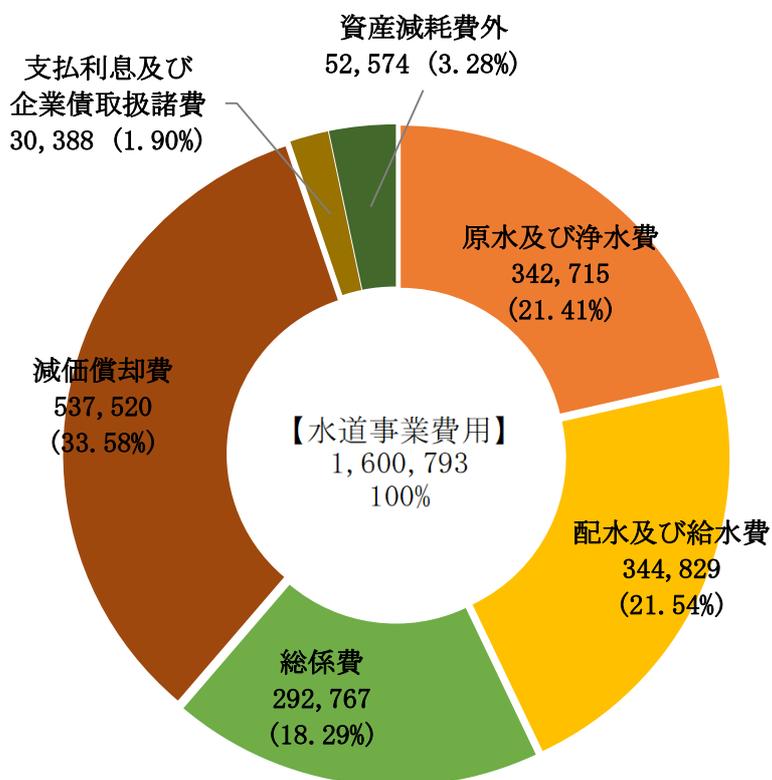
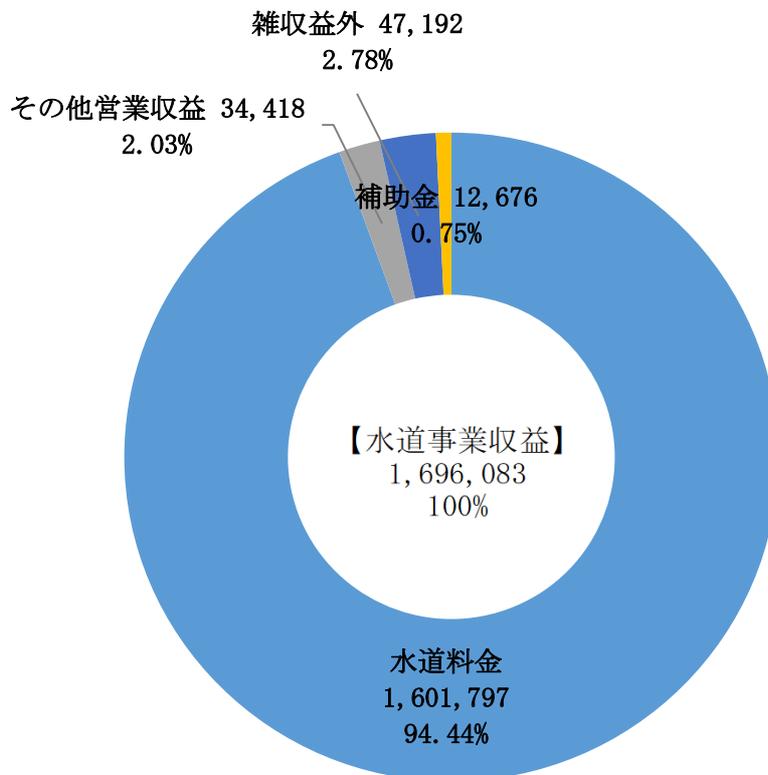
⑤水道施設拡張事業

ア．新規水源開発のため、吾平地区及び新栄地区において電気探査業務委託を行う。

イ．柏木地区の送水管布設工事を行う。

(4) 収益的収入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

